

広島大学

申込開始日	定員	60名	対象	社会人、大学生、高校生
7月15日(金)	受講料	4,000円	会場	研修室C、マルチメディアスタジオ

機械工学って面白いー大学研究者は何をみているのか

大学の研究者は、将来の社会のあり方を模索し、その中から自らの研究テーマを決定しています。その中で機械工学に関わる研究者は、豊かな社会の実現と機械工学の関わり、社会環境や自然環境を考慮した新たな機械の創造などをテーマに夢のある研究を行っています。最前線の研究現場で行われている取り組みをわかりやすく市民の方に解説し、将来の工学と社会の関わりについて考えていただくことを目的としています。

1 8月19日(金) (18:00~20:00) (研究室C) 工学研究科 池田 隆

■ 身近に見られる振動の世界と制振技術
身近に見られる振動現象(自動車、新幹線、飛行機、高層ビル、長大橋の振動)を紹介しながら、それらの振動現象の発生メカニズムを説明し、機械構造物の振動を抑えるため実際に利用されている技術を紹介しします。

2 8月26日(金) (18:00~20:00) (研究室C) 工学研究科 澤 俊行

■ 事故に見るものづくりの落とし穴
地震による大型プラントでの漏えい事故、大型トレーラーの暴走事故、チェーン破断事故、鉄塔工事における死亡事故など機械構造物に関する事故例とその原因を概観し、ものづくりのために何が必要かを考えます。

3 9月2日(金) (18:00~20:00) (研究室C) 工学研究科 遠藤 琢磨

■ 衝撃波
衝撃波と呼ばれている現象の基礎について解説し、衝撃波に関連する先進的な研究について紹介します。

4 9月9日(金) (18:00~20:00) (マルチメディアスタジオ) 工学研究科 石塚 悟

■ 人類は火を操り続けることができるか?
人類の発達の歴史は、火の使用法の高度化の歴史でもあります。火をうまく操ることで宇宙にまで飛び出した人類は、二酸化炭素排出による地球温暖化問題に直面しています。いかに火を操るか、その最先端を紹介しします。

5 9月16日(金) (18:00~20:00) (研究室C) 工学研究科 鈴木 裕之

■ 古くて新しい焼きものの技術と新材料の創製
焼きものを作る技術は、お皿やタイルの製造に限らず、先進的な材料や製品を作り出す上で欠かせない技術の一つです。その最近の動向について紹介しします。

6 9月30日(金) (18:00~20:00) (研究室C) 工学研究科 松木 一弘

■ ジェットエンジン用タービン動翼とロタン作“地獄の門”の製造
ジェットエンジン用タービン翼と彫刻“地獄の門”は共に鋳造法で作製され、彫刻は原型通りなら内部状態は問われませんが、タービン動翼は空冷用孔部が存在し、仕上げ面が問われ顕微鏡レベルの材質制御が必要となります。この違いを紹介しします。

CITY COLLEGE 2011

申込方法

1. 電話、ファックス、来所でお申し込みください。
(受付時間: 月~金(祝日・8月6日を除く) 8時半から17時15分まで) (来所の場合は9時半から)
※郵送(はがき等)による申し込みは受け付けておりません。
①希望講座名もしくは大学名 ②氏名(ふりがな) ③住所 ④連絡先(電話番号・ファックス番号等)をお知らせください。なお、申し込みの際にお寄せいただいた個人情報については、各大学・教育ネットワーク中国と共有しますが、事業運営以外の目的には使用しません。
2. 各講座とも全回参加を前提に受け付けております。
3. 申込開始日が講座によって異なりますので、ご確認ください。
(申込開始日までは受付できません。)
4. 各講座ともに先着順で受け付けます。定員になり次第、締め切ります。
5. 広島大学の講座については、別途受講手続きが必要です。

受講上のお知らせ

- ① 受講当日の開場・受付は、各講座開始30分前からです。
- ② 広島市まちづくり市民交流プラザの開館は午前9時半からです。
- ③ 受講当日の大雨や台風などの気象状況により、講座を中止する場合があります。

申込・問合せ

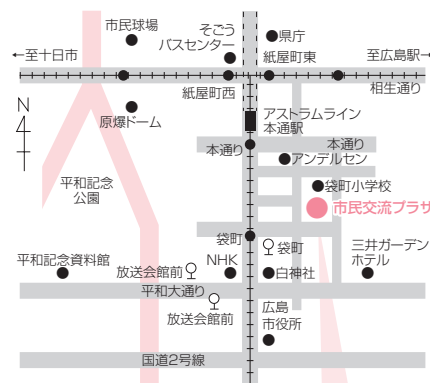
財団法人広島市未来都市創造財団ひとまちネットワーク部管理課
電話082-541-5335 Fax082-541-5611
(〒730-0036 広島市中区袋町6番36号(広島市まちづくり市民交流プラザ北棟5階))
※土曜日・日曜日・祝日・8月6日は閉所しています。

後期講座(10月以降開講)のお知らせ(予告)

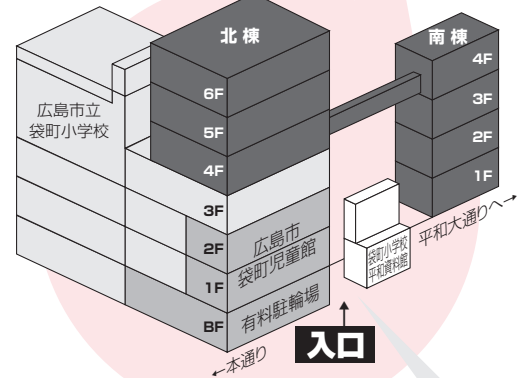
大学名	講座名	回数	定員
近畿大学工学部	異文化を知る英会話	5	40
広島経済大学	安心立命の世を問うーあふれる情報社会の中でー(仮題)	5	100
広島工業大学	安心で快適な生活環境と省エネルギー	4	50
広島国際大学	美しく年を重ねるためにー健やかに生きるための食と菜ー	4	50
広島市立大学	調整中	4	100
広島大学	中国の文化と社会	6	60
広島文教女子大学	原典で読む『百人一首』	5	50

●「ひろしまカレッジ」については別紙チラシをご覧ください。教育ネットワーク中国tel(082)209-8045までお問合せください。

シティカレッジ会場



※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
※自転車・バイクの方は、地下に公共駐輪場(有料)がございます。
【電車】袋町電停から徒歩約3分
【バス】袋町バス停から徒歩約3分
【アストラムライン】本通駅から徒歩約6分



北棟1階エレベーターをご利用ください。
研修室は北棟5階、マルチメディアスタジオは北棟6階です。

2011年前期
【受講生募集】

CITY COLLEGE 2011

シティカレッジ

シティカレッジは、県内の大学や短期大学、教育ネットワーク中国と広島市、財団法人広島市未来都市創造財団が連携して、大学などが持つ優れた研究・教育機能を市民生活に生かすことを目的に、社会人の皆様に学習機会を提供しています。日常の暮らしに生涯学習の時間を取り入れてみてはいかがでしょうか。(シティカレッジは、教育ネットワーク中国、広島県教育委員会、広島市、財団法人広島市未来都市創造財団及び加盟大学で実施する「ひろしまカレッジ」としても一部実施しています。)

主催

教育ネットワーク中国、広島市、財団法人広島市未来都市創造財団、広島文化学園大学、広島国際学院大学、広島女学院大学、日本赤十字広島看護大学、安田女子大学、県立広島大学、広島修道大学、広島大学(大学は開講日順)

会場

広島市まちづくり市民交流プラザ(広島市中区袋町6番36号)

広島文化学園大学

申込開始日	定員	50名	対象	社会人
4月1日(金)	受講料	無料	会場	研究室C

生活習慣と病気

病気の原因として日常生活習慣の影響が大きいことが明らかになり、従来の「成人病」は「生活習慣病」と呼ばれるようになって早15年になりました。ちょっとした予防、早めの予防、心がけて、防げる病気、守れる健康について一緒に考えてみませんか?
仕事や家事による過労、食生活の偏り、暴飲暴食、複雑な人間関係からくるストレス、運動不足、肥満等々...かぞえ上げれば、私たちのまわりには病気を引き起こす原因がたくさん!! どうすれば、どうしたら、私の健康、あなたの健康、家族の健康を守ることができるのか! 考えるだけでなく、まずは行動を起こしてみましょう!

1 5月7日(土) (13:30~15:00) 看護学部 特任教授 香川 治子

■ 生活習慣病を予防して~“輝いた生き方こそ健康”を目指しましょう~
超高齢社会を目前にして、健康寿命を延伸しその人がそのらしく、いきいきと生きることが何より大切です。そのためには生活習慣を見直し、とりわけバランスのとれた食生活、適度な運動を取り入れることにより生活習慣病を予防することが第一歩です。さらにイキイキ脳を目指して“輝いた生き方こそ健康”を実践しましょう。

広島国際学院大学

申込開始日	定員	60名	対象	社会人
4月15日(金)	受講料	無料	会場	研究室C

人材育成と新たな情報メディア

1 5月28日(土) (10:30~12:00) 准教授 藤本 風明

■ 地域福祉(ノーマライゼーション理念の具現化)の実現に向けて
無縁社会ともいわれる現代社会、これで果たしていいのか?「住み慣れた地域で、たとえ心身に障害があっても、親しい人と交り合いながら生活を続けたい」という思いや願いの実現のために、地域の人々の関係づくりや地域の条件を改善する工夫や努力の担い手・人材像に迫ります。

2 6月4日(土) (10:30~12:00) 教授 松本 俊雄

■ キャリア形成における大学と企業との関係
今まで企業が担ってきたキャリア形成が、現在大学に求められています。大学進学率増加の中で、大学における教育のあり方、企業の人材育成との棲み分け、就職難の中でのキャリアビジョン形成の重要性などを、企業における人材育成とからめて概観します。

3 6月11日(土) (10:30~12:00) 教授 山本 昌弘

■ 農業の担い手問題と農業政策
TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)の議論が激しくなり、日本農業に関する論争も熱を帯びています。その中心は誰がどのように日本農業を担うかという担い手つまり人材育成の問題です。複雑に絡んだ日本経済の将来構想と農業政策・農業の人材育成の問題について解説します。

2 5月14日(土) (13:30~15:00) 看護学部 教授 高田 昇

■ 妊婦がHIV感染者だったら...
美咲さんは妊娠時の「エイズ検査」で「陽性」でした。美咲さんと赤ちゃん、そして夫の雅治さんはどうなるでしょうか。性行為感染症は「生活習慣病」ではありませんが予防が可能という意味で共通しています。事例を通じてみなさんと一緒に考えていきましょう。

3 5月28日(土) (13:30~15:00) 看護学部 教授 古家 明子

■ 家庭における救急対応
家庭内でおこりうる救急を必要とする事柄について話をします。救急車を呼ぶ前にどのような対応をするのかを知っていただけたら幸いです。

4 6月4日(土) (13:30~15:00) 看護学部 教授 佐々木 秀美

■ 日常生活と病気(心の健康・身体の健康)
私達の日常生活は、常に何かから刺激を受けているがしかし、身体内では常にそのための調整機能を有しながら平静を保とうとしています。そうした身体の機能と心の問題を、特に「heart(こころ)&heart(心臓)」の側面から日常生活と病気について論じたいと思います。

5 6月11日(土) (13:30~15:00) 看護学部 教授 山本 正夫

■ モナリザの偽作(脳の働きの揺らぎと異常)
神経系の基本的な構造と働きについて簡単に学習し、われわれの判断基準が必ずしも絶対的なものではなく、知りえる世界のすべてを感覚的に受け止めていないこと、簡単に間違いを生じること、その脳が異常を生じたときどのような世界が広がってしまうのだろうか?ということについて考えて見ましょう。

経済的には発展してきたとされる日本の社会は今、生産から消費にわたって広がる不況、産業構造や人口構造の転換という状況にあります。少子高齢化のもとらす地域社会の問題は「無縁社会」や「ジャパン・シンドローム」などと言われる国際的にも注目される新しい社会状況を生みだし、それらを解決する担い手の育成と確保が重要な課題となっています。一方でコンピュータやインターネットの普及に伴い新たな情報メディアが誕生し、実社会とは違うコミュニケーションスタイルを形成しつつあります。本講座ではいよいよ喫緊の課題となっている「担い手問題」について、いくつかの分野のケースを紹介しながら解決の方向をみなさんと考えていくとともに、アニメーションやソーシャルメディアといった新たな情報メディアの紹介をしつつ、実社会との関わりをどうデザインしていくかについて論じます。

4 6月18日(土) (10:30~12:00) 講師 兼田 貴子

■ アニメーションの発展
アニメーションは、もはや国際的な産業となっていますが、この歴史から発展を探っていきます。また、現代美術とアニメーションの関係性を様々な事例を紹介しながらその可能性を考察していきます。

5 6月25日(土) (10:30~12:00) 教授 大塚 厚二

■ ソーシャルメディアとは何だろう
「ブログ」「動画共有サイト」「掲示板」「SNS」「情報共有サイト」などをソーシャルメディアと言います。とくに、SNSでは最近話題になっているfacebook、twitterなどの仕組みなどについて話をします。

6 7月2日(土) (10:30~12:00) 教授 伏見 清香

■ 期待されるコミュニケーションデザイン
新たなメディアや素材の登場によりコミュニケーションデザインは増々社会に広がっています。その現状を踏まえ、自分らしく生活をより豊かにするためのデザインについても紹介しします。

広島女学院大学

ひろしまカレッジ

受講証

申込開始日	定員	50名	対象	社会人、大学生
5月2日(月)	受講料	無料	会場	研究室C

日本古典文学に見る愛の形

文学の本質は愛と死であると言っても過言ではありません。ただ、今、私たちが用いている愛は、明治時代以降、キリスト教的な西洋風の観念が取り入れられてからのことです。古くは、仏教語として受容された「愛別離苦」を除き、「うるはし」「めぐし」「うつくし」などと訓読みされてきました。平安の代になって愛は音読みが定着しましたが、鎌倉時代以降、仏教的な煩悩として表現されることが多く、超克されるべき対象でした。そのため古典世界では愛ではなく、恋を用いるべきですが、ここでは、現代風にして愛を使用しました。「恋せずは人は心もなからましものあはれもこれよりぞ知る」（藤原俊成）と詠まれています。その形を日本古典文学の5作品を通して考えます。

1 6月2日(木)〈18:00～19:30〉

教授 森 斌

- 大伯皇女の弟大津皇子への愛

『万葉集』から愛ということ、大伯皇女の歌から考えます。愛別離苦という四字熟語も『万葉集』に使用されています。愛するものとの別れの悲しみが主題の歌は、挽歌にもたわれ、相聞歌にもありますが、ここでは相聞の部に収められた大伯皇女の弟大津皇子を思う気持ちを考察します。

日本赤十字広島看護大学

ひろしまカレッジ

受講証

申込開始日	定員	50名	対象	社会人、大学生
5月2日(月)	受講料	無料	会場	研究室C

日本の常識、世界の非常識―真の国際化を目指して―

日本で常識と思われていることが、世界では非常識とされたり、逆に世界の常識が日本では通用しない場合もあります。本学は看護系大学ではありますが、本講座では、一般教養・専門基礎領域の教員が、専門とする分野での最近の知見などを紹介します。そして、日本と世界の現状を比較しながら、皆さんと一緒に国際的な視野で考えてみましょう。

1 6月3日(金)〈18:00～19:30〉

教授 宇野 久光

- 究極の予防医学―抗加齢医学:今日から始める理論と実践

アンチエイジングが昨今もてはやされていますが、本講座では最近の医学・生物学が明らかにした加齢のメカニズム、およびそれに基づく抗加齢医学の実践法を、豊富な図と資料を用いてやさしく講義します。また、冊子などの各種資料を沢山配布します。

安田女子大学

ひろしまカレッジ

受講証

申込開始日	定員	60名	対象	社会人、大学生、高校生
5月2日(月)	受講料	無料	会場	研究室A、C

<弱者>へのまなざし―日本文化の基層をさぐる―

今日の経済社会においては、「勝ち組」や「格差」といったことがしきりに取り沙汰されますが、そこでは<勝者>が賞賛される傾向が見られます。しかし、そうした傾向はそもそもの日本の姿だったのでしょうか。本来の日本はもっと<弱者>に対してあたたかいまなざしをもっていたのではないのでしょうか。そうした視点から<日本>というものを見つめ直してみます。

1 6月4日(土)〈14:00～15:30〉

(研究室A) 教授 鈴木 幸夫

- 新井白石の気骨

徳川将軍6・7代に仕えた新井白石は、晩年「折たく柴の記」という自叙伝を残しています。その中から、若きころの同輩への思いやりや、将軍を補佐する立場になってから、庶民への仕置きに対する意見などのエピソードを探ってみます。

2 6月9日(木)〈18:00～19:30〉

教授 佐藤 茂樹

- 和歌の贈答に見る愛の形

贈答歌には、約束事があります。大きくは次の二つです。①相手の詞を自歌に用いる。②女性は男性の求愛を切り返し否定し反論する。こうした決まりの中には、歌才とともに女心が垣間見えます。王朝の贈答歌を通して、歌人は何を訴え、何を求めたのかを考えます。

3 6月16日(木)〈18:00～19:30〉

教授 佐藤 茂樹

- 『平家物語』に見る愛の形

『平家物語』には愛別離苦の哀しみが綴られています。愛する者との別れほど悲しいものはありません。その究極は死別です。その時、人は何を思い、何を覚悟したのかを読み取り、愛の形を考えます。対象は「通感と小宰相」、「滝口の入道と横笛」です。

4 6月23日(木)〈18:00～19:30〉

教授 金田 文雄

- 「吉備津の釜」の磯良

『雨月物語』には3人の女性が登場しますが、中でももっとも凄まじいのは磯良でしょう。夫に裏切られた磯良は窮鬼となり、さらには死霊となって正太郎に襲い掛かります。恐ろしくもあり、また哀れでもある磯良像を読み解いていきましょう。

5 6月30日(木)〈18:00～19:30〉

教授 金田 文雄

- 『心中天網島』おさん

近松門左衛門の世話浄瑠璃の最高傑作とされる『心中天網島』をとりあげます。この作品には遊女の小春と主人公治平衛の妻おさんが登場しますが、今回は残されたおさんの悲劇を中心にこの劇を考えていきますよ。

2 6月10日(金)〈18:00～19:30〉

教授 Simon G.Capper

- The History and Culture of English Pubs (日本語通訳なし)

"Whether tourist or local consumer, few people seem to appreciate the depth of history and culture to be found outside and within the English public house. This talk gives some insights into how pub signs, so integral to the identity of each pub, illustrate the history of England, and explains how the customs and culture of the pub have changed over the years.

3 6月17日(金)〈18:00～19:30〉

教授 小林 浩明

- 近年話題になったウイルス性疾患 ―口蹄疫、新型インフルエンザなど―

いろいろなウイルス性疾患を概説した後、病気に対する取り組み方について、わが国と外国の現状を眺めてみます。わが国では風邪の予防には、うがいや手洗いをし、マスクを付けますが、外国ではどうでしょうか。トイレ後の手洗いについても、考え方が違うようです。科学的な検証を加えながら、合理的な方法を一緒に考えていきたいと思います。

4 6月24日(金)〈18:00～19:30〉

准教授 女鹿 喜治

- 英語学習に伴う困難さと日本語と英語の違いについて

自分の職業を聞かれた時、私が英語教師で、さらに英語の研究者ですと答えると、相手の方は私が英米人と同じように英語が使えらと思いき、どうすれば効率よく英語ができるようになるのかとばかりに尋ねていらつることがあります。それこそ私の方が知りたいことなのですが、このことでいつも困惑してしまいます。日本人はこれまで英語学習に困難を覚えるのには何か訳があるはずですが、ここでは、私の英語学習の経験と語学関係の文献から得られた知見から考えてみたいと思います。

5 7月1日(金)〈18:00～19:30〉

教授 川根 博司

- 日本と世界のタバコ事情

世界保健機関(WHO)が策定した「たばこ規制枠組条約(FCTC)」は2005年2月27日に発効しました。今までに日本を含め世界171か国が、本条約を批准し締約国となっています。各締約国は国際条約であるFCTCを遵守し履行する義務があります。わが国および世界におけるタバコ事情について知るとともに、なぜタバコ規制が必要なのかを学びましょう。

2 6月11日(土)〈14:00～15:30〉

(研究室A) 准教授 宮岸 哲也

- 弱者からのまなざし

路上で見せ物をしながら生きる家族を描いたスリランカ映画『蝶の羽』を見て、弱者の置かれた状況や社会的な問題について考えます。発展途上国における弱者の生活を理解しつつ、先進国である日本は、彼らに対しどのような援助をしたらよいのでしょうか。

3 6月18日(土)〈14:00～15:30〉

(研究室C) 教授 杉本 好伸

- 17世紀《庶民文学》の誕生意義 ―西鶴・慈愛の視線―

一般に、元禄期の西鶴あたりから《庶民文学》の誕生と見なしています。しかし、作中の主人公が庶民階層であったからとだけ捉えるのでは十分ではありません。社会的弱者に対しても、温かくなまなざし>がそがれていることこそ、本当の意義を見るべきでしょう。《庶民文学》の真相を見直してみましょう。

4 6月25日(土)〈14:00～15:30〉

(研究室C) 講師 高木 久史

- 中世における伝統芸能の成立と展開 ―いわゆる幸若舞をめぐって―

日本中世の伝統芸能といえは能や狂言などが思い浮かびます。一方ですでに滅びてしまった中世芸能もあります。その例として、曲舞(くせまい)幸若流(いわゆる幸若舞)を探り上げ、どのような人々によって演じられてきたのか、どのような人々によって鑑賞されてきたのか、その歴史的特質を考えます。

5 7月2日(土)〈14:00～15:30〉

(研究室C) 教授 藤村 猛

- 弱者へのまなざし ―金子みすゞの詩の世界―

金子みすゞの詩には、不思議な魅力があります。彼女の詩を聴むと、「優しいまなざし」を感じます。それは、どこから生きてきたのでしょうか。彼女が生きた時代・土地・人生などを考えつつ、彼女の代表的な詩を読んで、その魅力を味わいたいと思います。

県立広島大学

ひろしまカレッジ

受講証

申込開始日	定員	100名	対象	社会人
5月16日(月)	受講料	無料	会場	マルチメディアスタジオ

酒の文化誌

酒は人類の歴史とともにある飲み物です。酒は人々の生活や文化、宗教、芸術などとも深いつながりを持っています。古今東西の酒と人々とのかかわりについて、歴史・地理や文学・音楽・美術などの視点から解き明かします。

1 6月18日(土)〈13:30～14:30〉

教授 酒川 茂

- 飲めるお酒はさまざまに

お酒は土地によってさまざまです。米でも麦でも芋でも、あるいは根・茎・花・蜜・乳でも、人は「酔い」を求めてお酒を造ってきました。所与の自然環境のもと、得られる原料によって各地の「民族の酒」「国民酒」が造られ、楽しまれてきました。ところが、近年はお酒のボーダーレス化が進み、伝統的な嗜好に変化が生じてきています。こうした変化のありようを、お酒を嗜(たしな)む側から見直してみたいと思います。

2 6月18日(土)〈14:40～15:40〉

教授 柳川 順子

- 古代中国の酒宴

今から二千年ほど前の中国の人々は、酒宴において実に様々な娯楽に打ち興じていましたが、こうした宴席は、死者の住む世界と隣接する場にも同様に設けられていました。生と死とが交錯する中で詠われた詩歌を味わいながら、古代の人々の思いに触れてみましょう。

3 6月25日(土)〈13:30～14:30〉

講師 田淵 桂子

- 酒の神ディオニュソス

ヨーロッパのお酒といえばワイン。ぶどう栽培を広めたといわれる酒の神ディオニュソス(バックス)をとりあげ、古代オリエント出身の神の起源や神話・伝説などをたどりながら、ヨーロッパにもたらした文化的影響を見ていきます。

広島修道大学

ひろしまカレッジ

受講証

申込開始日	定員	100名	対象	社会人、大学生、高校生
6月1日(水)	受講料	無料	会場	研修室AB

環境の時代と地域企業

近年、世界中で取組みが本格化している環境経営が、発展途上国をはじめ日本国以外の国との取引関係を通じて、現地の環境にどのような影響を及ぼすかについて、広島経済圏企業の事例を取り上げて講義します。広島企業の環境経営が①進出国における事業所、生産拠点においていかに展開され実施されているのか、さらに②進出国における取引関係にある下請サプライヤーや取引先の現地企業に対してどのような影響が及んでいるのか、そのプロセスと波及効果を現地調査等によって追跡します。

1 7月1日(金)〈18:00～19:30〉

商学部教授 金原 達夫

- 環境経営をはじめる

エコポイントやリサイクルの展開に見るように、地球環境問題は企業にとって避けて通れない課題になりつつあります。この講義では、企業の環境経営が求められる背景やその実践的取り組みを紹介します。そして、持続可能な発展に向けて、環境経営の基礎である経済制度・企業統治がどのようにかわるのか考えることにしたいと思います。

安田女子大学

ひろしまカレッジ

受講証

申込開始日	定員	60名	対象	社会人
6月1日(水)	受講料	無料	会場	研究室A、C

身近な病気とくすり

1 7月2日(土)〈10:00～11:30〉

(研究室A) 教授 宮原 裕

- 鼻の病気とくすり

鼻の病気では代表的なアレルギー性鼻炎と副鼻腔炎についてわかりやすくお話しします。おくすりによる治療が最初の治療選択となりますが、それにも限界がある場合には手術も検討されます。最近の内視鏡下の鼻・副鼻腔の手術についても紹介します。

2 7月9日(土)〈10:00～11:30〉

(研究室C) 教授 茂木 定之

- 床ずれとくすり

床ずれは寝たきりになればできてまで仕方がない、床ずれは治らない病気だと思っている方が、非常に沢山おられます。そんなことはありません。原因を考え、適切に薬を使い分けると治すことが出来ます。予防することも出来る病気なのです。

4 6月25日(土)〈14:40～15:40〉

教授 小玉 好行

- 乾杯の歌～酒に因むあの名曲、この名曲

オペラでは、「乾杯の歌」や酒に因むアリアなどが登場しますが、酒に因む名曲を取り上げ、やさしい解説とともに名曲を鑑賞します。

5 7月2日(土)〈13:30～14:30〉

ひろしま美術館主任学芸員 古谷 可由

- 西洋絵画とお酒

ヨーロッパの絵画にはお酒をモチーフにした作品が数多くあります。お酒を描いた作品を觀賞しながら、なぜお酒が描かれたのか、画家の制作意図と注文主の目的、絵画を見る者の思いなどに迫っていきます。

6 7月2日(土)〈14:40～15:40〉

教授 松井 輝昭

- 日本人と無礼講

皆さんは「無礼講」という言葉をご存知ですか。この言葉は現代の若者のあいだでも、活きた言葉として繰り返し使われています。日本人はなぜ「無礼講」という言葉を受用し続けるのでしょうか。本講座では、日本人と「酒」と「神」との関わりにふれ、その由来と歴史を明らかにしたいと思います。また、外国人がこのような日本的な習俗に対して、どのように見ているのかについても付言するつもりです。

7 7月9日(土)〈13:30～14:30〉

教授 樹下 文隆

- 御酒は風を三寸去る一酒の徳と飲酒戒

禪宗寺院などの門前にある「不許薫酒入山門」が示すように、戒律を守るお坊さんは酒を飲むことができません。しかし、中世のお坊さんは、結構公然とお酒を飲んでいたようです。般若湯という酒の異名が、酒ではないので飲んでよいという方便から生まれたことはよく知られていますね。能の作品を中心に酒の徳と飲酒戒の関係を考えます。

8 7月9日(土)〈14:40～15:40〉

教授 秋山 伸隆

- 毛利元就は本当に下戸だったのか

毛利元就は長男隆元や孫輝元に過度の飲酒を戒め、祖父・父・兄は酒のため短命であったが、自分はず下戸で長生きすることができたとしています。元就は本当にお酒を飲まなかったのでしょうか。戦国武将とお酒のかかわりについて考えます。

2 7月8日(金)〈18:00～19:30〉

人間環境学部教授 羅 星仁

- 環境経営の移転：西川ゴムを事例に

環境経営の実践的な取り組みを踏まえながら、本社の環境経営が海外に立地する子会社にどのように移転されているのかについて西川ゴムの事例を取り上げながら、解説します。

3 7月15日(金)〈18:00～19:30〉

人間環境学部准教授 豊澄 智己

- 環境ビジネスの成功と失敗

環境ビジネスの成否を分ける鍵は「原材料」の安定的な確保にあります。成功事例と失敗事例の両方を紹介しますので、環境ビジネスを手がける際のヒントを探っていただきたいと思います。

4 7月22日(金)〈18:00～19:30〉

商学部准教授 政岡 孝宏

- 環境と会計

近年、環境会計に対する社会的関心が高まっており、多くの企業が環境報告書の中あるいは財務諸表の中で環境会計に関する情報を公表しています。この講義では、日本における環境会計の取り組み状況について、主として広島経済圏企業に焦点を当てて解説します。

5 7月29日(金)〈18:00～19:30〉

商学部教授 金原 達夫

- 国際化する環境経営

持続可能な発展のためには、先進国、途上国の双方の取り組みが不可欠です。特に、先進国企業による直接投資を通した環境経営の実践が有効です。この講義では、先進国企業による途上国での環境経営の実践を考えてみたいと思います。とりわけ、ISO14001やグリーン調達がどのように進められているか紹介します。

くすりは病気の治療になくはならないものです。くすりにはたくさんの種類があり、病気に応じて使い分けがされています。私たちの身近な病気として知られる高血圧症、鼻の病気、床ずれに対して使われるくすりかどのような根拠で選ばれ、どのようにして効くのか、副作用はないのかなど具体的にくすりの種類を挙げて、それぞれの専門家が解説します。さらに、くすりの飲み方など平素抱かれている素朴な疑問にもお答えします。今回の講座を通してくすりに対する認識を深めていただき、正しいくすりの使い方を身につけてください。

3 7月16日(土)〈10:00～11:30〉

(研究室C) 教授 新井 茂昭

- 高血圧症とくすり

高血圧症は薬を飲めば簡単に治るという病気ではありません。患者さん自身が高血圧をよく理解し、生涯にわたって血圧をコントロールしていかなければなりません。そのなかで薬はたいへん大切で正確に服用する必要があります。

4 7月30日(土)〈10:00～11:30〉

准教授 山口 友明

- おくすりQ&A

くすりの飲み方、飲み合わせや管理における注意点、患者さんからよくある質問、間違ったくすりの知識と正しい知識など、例をあげて、おくすりに関する素朴な疑問にお答えします。